



ワークショップ

## 『私だけの首羅山遺跡』報告書

場所：レスポアール久山ロビー

日時：平成26年7月25日（金）午後1時30分～午後4時

## 1、はじめの挨拶（趣旨説明）

首羅山に関する久山町の取り組みの現状とワークショップの趣旨を説明。



首羅山模型に興味津々



佐々木課長補佐のあいさつ



## 2、ワークショップ

### 1) 遺跡の概要

模型をつくるための基礎知識としての概要説明を、展示物をみんなで見ながら紹介する。主な地区ごとの特徴と、活用可能性の一部を紹介。



江上さんによる遺跡概要の説明



江上さんによるパネルの説明



阿部さんによる説明

### 2) 手順の説明

ワークショップの手順を説明する。

- ①旗に名前を書く
- ②首羅山模型に旗を立てる
- ③台紙に石をはる
- ④石の上に柱をたてる
- ⑤柱の上に床を置く
- ⑥あとは自由！



### 3) ワークショップ開始

説明を真剣に聞く小学生



小学生チーム



大人チーム

### 3、私だけの首羅山遺跡想像発掘リスト



#### 五間堂のかげ

身分の違いで建物の高さを決めた。  
今の状態は、身分関係なし、一番上は  
祭りや占いをする所。2階は寝る所。  
池や木は遊び場。



#### 本谷の大きな家

トラとお坊さんは、学校で「お坊さん  
がトラに乗ってきて民がトラをころし  
てしまう」って聞いたことがあるので  
書きました。



#### 古い大きな家

こけをつけて古く見せた。池や木をお  
いてまわりを明るく見せた。家の形な  
ど考えてした。



#### 昔の展望台

見晴らしがいい場所なので、展望台が  
あったと思いました。



#### 一階建て一軒家

一人暮らしの一軒家をイメージして書き  
ました。周りには池と木しかない村に  
しました。



#### すごい屋敷

芝生をたくさんつけて、屋上に大きな  
木をつくって、3本の木などをデザイ  
ンしました。



#### お坊さんが修行場に行く

お坊さんが修行しようと、修行場に行こ  
うとする時の様子を考えて作ってみた。



#### 600年以上前の首羅山

山にある家にするために土やこけ、木  
や池などを作った。階段やテラスや屋  
上なども作った。



#### お坊さんの家と庭

お坊さんがゆったりしたり、池を見たり  
できるようにした。



#### こけ家

お坊さんが毎日修行できるように大き  
く作った。



#### 六角堂のイメージ

基礎だけ六角、上は四角。



#### 三角堂

礼拝をしますと幸福が参ります。



**山小屋**



**本谷より博多湾を望む**



**見張り台のある家**

①敵がいつ攻めてきてもいいように、見張り台をつくった

②池や木を置くことで自然を感じられるようにした。

③昔のようなイメージを出すために、三角屋根にしたり、扉を工夫した。



**山王日吉の仏神殿 神仏習合**

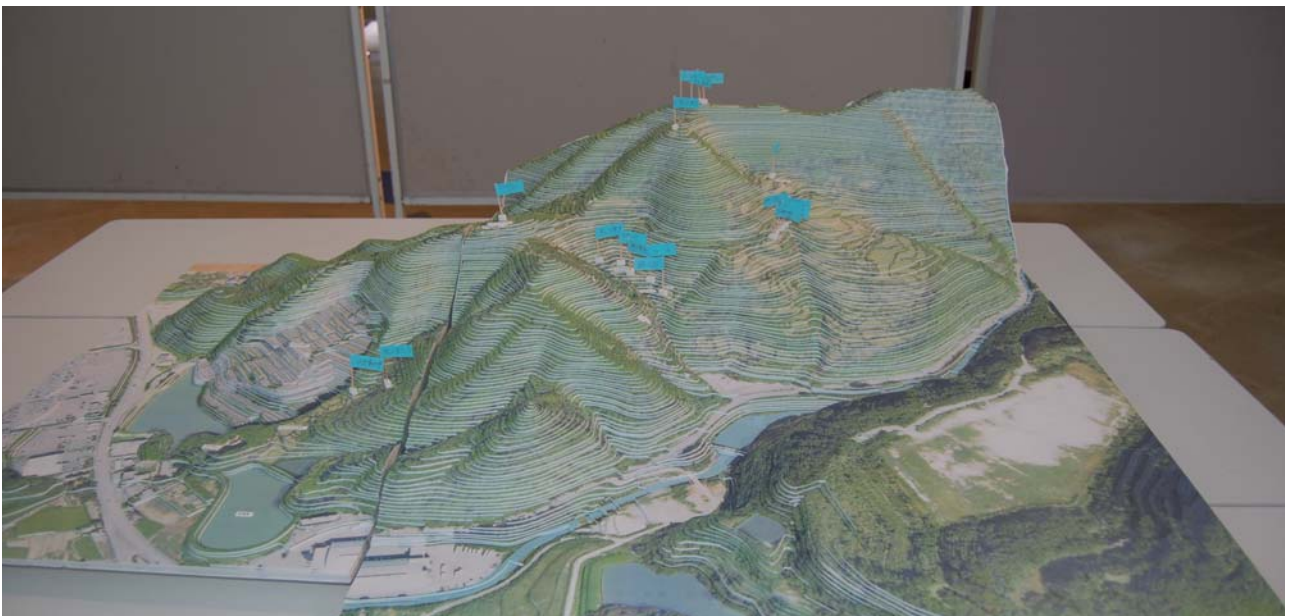
山王日吉地区には、室町中期の頃まで、修験宗が残り、地域との繋がりがあっただろう。山頂を奥の院とし、ふもとに拝殿を持ち、日常はこの山王日吉が巴との接点として共存したと想像してみた。



**西谷の能楽堂兼鴻臚館 (外国人接待所)**

今から発掘する西谷は池や中国の竹があり、庭園があったと史料されることから、外国人来朝の時などの接待所をイメージしました。

**[ 作品展示風景 ]**



みんながワークショップで発掘した地点